

## 会議録（１）

会議の名称	平成29年度 第4回 飯能市障害福祉審議会
開催日時	平成29年12月18日（月） 開会 午後6時30分 閉会 午後7時55分
開催場所	飯能市役所本庁舎 別館2階 会議室
会長氏名	上野 容子
出席委員	上野 容子          田中 正彦          桑山 和子          佐藤 智恵美 原 陽一          吉岡 かおる      加藤 久子          小島 崇幸 野田 剛
欠席委員	坂本 美津子      角田 健一          大森 三起子      岡田 京子 齋藤 みどり      樽澤 久美子      神山 秀昭
説明者の職氏名	健康福祉部長兼福祉事務所長 島田 茂 障害者福祉課長兼つぼみ園長 安藤 礼子 障害者福祉課主幹（相談支援担当）双木 和宏 障害者福祉課主幹（障害総務担当）須田 あゆみ
傍聴者の数	1名
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	健康福祉部長兼福祉事務所長 島田 茂 障害者福祉課長兼つぼみ園長 安藤 礼子 障害者福祉課主幹（相談支援担当）双木 和宏 障害者福祉課主幹（障害総務担当）須田 あゆみ 障害者福祉課主任 佐藤 正也 障害者福祉課主任 西村 英樹
飯能市委託事業所	飯能市すこやか福祉相談センターさかえ町 徳永 龍介 飯能市すこやか福祉相談センターはちまん町 真鍋 さゆり 飯能市精神障害者地域活動支援センター希望 志村 栄子 飯能市障害者就労支援センター 平沼 裕太

## 会議録（２）

議事録の概要（経過）・決定事項	
1	開会（午後６時３０分）
2	あいさつ 上野会長 大久保市長
3	答申 第４次飯能市障害者計画・第５期飯能市障害福祉計画・第１期飯能市障害児福祉計画（素案）について（答申） ・審議会より大久保市長に答申を行った。
4	議事 第４次飯能市障害者計画・第５期飯能市障害福祉計画・第１期飯能市障害児福祉計画の推進について ・計画の推進にあたり、委員から意見を伺った。 ・今後の策定スケジュールについて説明した。
5	その他 ・月刊冊子「ノーマライゼーション 障害者の福祉」（公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会発行）２０１７年１２月号に、にこにこハウスが掲載されたことを紹介した。
6	閉会（午後７時５５分）
備考	

## 会議録（3）

発 言 者	発 言 内 容
課長	<p>では、次第の3の答申に入ります。</p> <p>飯能市障害福祉審議会を代表いたしまして、上野会長より、大久保市長へ答申書の提出をお願いいたします。</p>
会長	<p>（答申書を読み上げ、大久保市長に手渡す。その後、市長は退席。）</p>
課長	<p>続きまして、議事に入らせていただきます。規則に従いまして、会長に議長をお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、次第の4の議事に入ります。「第4次飯能市障害者計画・第5期飯能市障害福祉計画・第1期飯能市障害児福祉計画の推進について」を議題といたします。</p> <p>計画は、障害福祉に関わる人だけでなく、広く市民の方にも分かりやすく、理解しやすいことが大事です。飯能市の計画は、分かりやすい言葉で書かれていると思います。</p> <p>今後は、この計画を具体的に実行することが大事です。一人でも多くの方にこの計画を理解していただき、進めていければと思いますので、計画の推進にあたりまして、委員の皆様からのご意見をお願いいたします。</p>
委員	<p>進行管理にあたっては、施策の実施状況の評価が必要であり、多くの市民や障害当事者の意見を聞くことが大事だと思います。また、評価の公表は年に1回となっていますが、6か年の間には、法改正や社会情勢の変化も考えられますので、適切に評価し見直していく必要があると思います。</p>
委員	<p>全体として、分かりやすく、時代に即した計画になったと思います。</p> <p>地域の中で暮らしていくためには、就労や雇用の充実が課題であると思います。</p> <p>また、相談支援については、すこやか福祉相談センターの活用と共に、良質な相談支援計画を立案する個別支援が求められています。障害者も含めた地域包括ケアは、これからの重要課題だと思いますので、障害者の皆さんやご家族の意見に耳を傾けながら取り組むことが必要だと思います。</p>
委員	<p>10年前から比べると、今、障害者の皆さんが地域のコンサートで活躍される様子を見ることなど夢のようです。取組が進んできたことがよく分かります。</p>

委員	<p>この計画には、実効性のある施策が書き込まれ、当事者や家族、事業所、市役所が一体となり取り組む姿勢が感じられます。計画の終期となる6年後には、どのように進んでいるかと思うと胸がいっぱいになります。</p> <p>今回の計画は、とても前向きに多くの施策を取り入れていただいたと思います。</p> <p>施策が1つでも実を結ぶために、情報の提供が重要だと思います。相談者にとって、今、必要な情報と、少し先の将来に必要な情報を合わせて教えていただくと、先の見通しを持つことができ、安心と笑顔に繋がると思います。</p> <p>今後とも、飯能市民が笑顔で暮らしていけるよう、飯能市のお力添えをお願いいたします。</p>
会長	<p>今、必要な情報と、将来が見通せるような情報の提供が大事だと思います。</p>
課長	<p>ありがとうございます。将来を見通した情報も知ることで、安心に繋がることがよく分かりました。事業所や学校などとも連携を図りながら、多角的な視点から、情報提供に取り組んでいきたいと思います。</p>
委員	<p>相談支援体制の充実では、地域包括ケアを進めるためにも、計画相談の充実が必要です。計画相談員の研修の機会を増やすことも大切だと思います。</p>
委員	<p>計画相談によるマネジメントをしっかりと行うことが、障害者の自立、尊厳に必要です。介護保険制度と同じような研修体制ができれば良いと思います。</p>
会長	<p>障害者の分野でも、質の高い相談支援が行えるよう研修の機会を増やしていくことが大事だと思います。</p> <p>精神障害者の地域移行については、地域課題として考えていけるような取組を進めていただきたいと思います。</p>
委員	<p>この5年間で総人口は2%ほど減少していますが、障害者手帳所持者は増加しており、特に、精神障害者保健福祉手帳所持者は32%増加しています。</p> <p>精神障害者保健福祉手帳所持者の増加は、障害者自立支援法以来の、制度の確立が大きく影響していると思います。今後も、サービスに繋がっていない当事者を、いかに必要なサービスに繋げるかが課題だと思います。</p>

委員	<p>また、障害理解のための教育が大事であると思います。統合失調症が発症しやすい思春期の児童生徒へ、当事者団体などが講話をするような取組を充実させていくことも必要ではないでしょうか。</p> <p>計画の位置付けとして、地域福祉計画との連携が重要だと思います。</p> <p>飯能市では、地域包括支援センターの受託事業所が、すこやか福祉相談センターも受託しています。そのような事業所が地域の拠点となり、実効的な研修を実施できたら良いと思います。</p> <p>それから、障害者支援協議会の充実、地域活動支援センターの増設、基幹型相談支援センターや児童発達支援センターの新設が、今回の答申の大きな要だと思います。これらを着実に実行していくためには、行政にすべて頼るのではなく、各事業所においても、支援協議会等の機会を通じて意見を届けることが重要だと思います。</p>
委員	<p>今回の計画の中で、障害福祉を支える重要な立場の一つとしてコミュニティソーシャルワーカーを位置付けたことは、地域福祉を進めていくためにも、大変意義があると思います。住み慣れた地域で、様々な社会資源とつながり、安心して暮らしていけることが大事です。</p> <p>それから、福祉教育では、障害者や関係団体などと連携して協力体制を築き、学校が取り組みやすいプログラムを提案していく必要があると思います。</p> <p>計画に記載されたことを、市、社会福祉協議会、関係者が連携して、どのように実践するのが、大事だと思います。</p>
会長	<p>誰でも高齢者になりますし、障害者にもなることがあるということを理解することが、福祉教育の根本だと思います。</p> <p>例えば、精神科医師から、心の病気とは何か、精神障害者も地域の生活者として等しく同じであることなどを伺う機会があると、とても伝わりやすいと思います。</p> <p>行政では難しいことが、社会福祉協議会であれば柔軟に対応できることもあるのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>事業所において、地域の小学5年生や6年生、特別支援学級と協力して、福祉教育を進めている事例があります。実践にあたって、現場の先生とコミュニケーションを取りながら進めることが大事だと思います。</p> <p>職業体験を経験した中学生からは、将来、福祉の仕事に就きたいという感想もありました。児童生徒にとって、体験はとても重要です。</p>
委員	<p>計画の進行管理において、「家族会等の関係団体と連携するとともに、地</p>

委員	<p>域づくりに資する自主的な活動を支援します。」と記載されています。</p> <p>障害福祉の事業所が運営するカフェなどでは、地域との連携や困りごとの受け皿の役割を果たすコミュニティづくりが実践されています。</p> <p>当事者の会や親の会と、すこやか福祉相談センターが結びつくことが大切だと思います。</p> <p>ご意見のあったカフェは、障害者だけでなく、高齢者や子育て世代も含め、地域の中で融合しています。障害者福祉が特別なものではなく、居場所とまちが繋がることで良い雰囲気となり、まちが優しくなっていくのではないのでしょうか。</p> <p>相談支援については、基幹型相談支援センターを設置し、対応が進むと良いと思います。</p>
主幹 (障害総務担当)	<p>本日、欠席委員からのご意見を預かっておりますのでお伝えします。</p> <p>これまでに3回開催された「とまり木コンサート」では、回を重ねるごとに会場の一体感が大きくなっています。これまでに参加した団体、参加していない団体も含めて、今後どのように継続していくかを皆様と考えることが、障害者を含めた地域福祉の実践に繋がると思います。</p> <p>また、地域活動支援センターの増設と充実、基幹型相談支援センターの設置が重要であり、計画期間に実現できるよう皆様と力を合わせていきたいとのことでした。</p> <p>それから、事務局として2点補足説明をさせていただきます。</p> <p>まず、本日の計画の素案の中で、前回からの変更点は、ページの下に載せてありました用語注釈を巻末に移動させていただいた点です。</p> <p>次に、今後のスケジュールについてですが、本日、答申をいただきました計画の素案を庁内会議に報告した後、1月12日から2週間の予定でパブリックコメントを実施します。パブリックコメントについては、広報はんのうやホームページでもお知らせします。パブリックコメント終了後に最終調整を行い、計画が完成となります。その後、委員の皆様にもお届けし、市民にも公表いたします。</p>
会長	<p>委員の皆様にご審議いただき、飯能市らしい計画の素案になったと思います。計画の推進にあたりましては、これからも審議を重ね、チェック機能を果たしながら飯能市がより良くなるよう進めていただきたいと思います。ありがとうございました。</p>
会長	<p>他に何かご意見はございますか。</p> <p>(意見なし)</p>

会長	以上で、審議を終了します。 委員の皆様ご協力ありがとうございました。
議事の内容・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。  平成      年      月      日  議長の署名	